

氏名	相良翔	部署	社会福祉子ども学科	職名	助教
研究分野	福祉社会学、犯罪社会学、医療社会学、司法福祉論				
学位	博士（社会学）				
学歴	2011年3月 上智大学大学院総合人間科学研究科 社会学専攻 博士前期課程 修了 2018年7月 中央大学大学院文学研究科社会学専攻 博士後期課程 修了				
経歴	2011年4月～2014年3月 更生保護施設 補導員				
所属学会（役職）	ヨーロッパ犯罪学会、日本社会学会、日本犯罪社会学会、福祉社会学会、日本社会病理学会、日本保健医療社会学会、関東社会学会、日本ソーシャルワーク学会				

【2021年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	『サバイバーの社会学：喪のある景色を読み解く』	共著	あり	ミネルヴァ書房、321	浜日出夫編著（相良は9章担当）	2021年10月
2	『犯罪・非行からの離脱』	共著	あり	ちとせプレス、320	岡部健編著（相良は6、8章担当）	2021年12月
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名
1	該当なし					
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	Current Status of Alcohol and Substance Use among Japanese Early Teens: Its Factors and Impacts	単独		the 12th Annual Asian Criminological Society Conference、Online	○Sho Sagara	2021年6月
2	Trends in Desistance Research in the Last 10 Years : 2011-2020	共同		EuroCrim2021、Online	Yuji Takenaka, Sho Sagara, Masahiro Suzuki, Noriko Hashiba, Nozomi Yamawaki	2021年9月
3	学部における社会福祉実習教育の現状と対応について	単独		福祉社会学会臨時大会、Online	○相良翔	2021年12月
(4) その他						
	名称	単・共		発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし	単著				
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称			研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	文部科学省: 科学研究費補助金（基盤研究C）			批判的犯罪学の観点をふまえた非行からの離脱過程に関する研究	研究分担者	2023年3月まで
2	文部科学省 科学研究費助成事業（若手研究）			更生保護施設に勤める支援専門職の役割形成の要因およびプロセスに関する質的研究	研究代表者	2023年3月まで
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	医療と福祉の社会学	○	15	医療と福祉社会学における基礎的な理論や概念について講義し、批判的に検討するための基礎的な能力を養成した。 オリジナルテキストと動画資料も用意して、オンデマンド型で展開し、受講しやすい環境をつくることを心掛けた。 疑問や質問についてもリフレクションペーパーなどを通じて随時聞き取り、講義に活かした。		
2	現代社会と福祉	○	15	社会福祉学における中核的な理論や概念について発展的な講義を行い、現代社会における福祉的課題について論理的に考察する能力を養成した。 オリジナルテキストと動画資料も用意して、オンデマンド型で展開し、受講しやすい環境をつくることを心掛けた。 疑問や質問についてもリフレクションペーパーなどを通じて随時聞き取り、講義に活かした。		

3	ソーシャルワーク実習事前指導Ⅱ		15	実習経験をもとに学習をより深めるために、オンラインで行うことも考慮しながら、準備・運営した。
4	ソーシャルワーク実習事前指導Ⅰ		15	実習に必要な知識や技能の習得のため、オンラインで行うことを考慮しながら、授業準備や資料作成を行った。
5	子ども若者支援論（大学院前期）		4	子ども若者支援に関する専門論文（非行・薬物依存・サバイバー）を基にディスカッションを行った。
6	ソーシャルワーク特論（大学院前期）		15	ソーシャルワークに関する専門文献を基にディスカッションを行った。
7	社会的排除とソーシャルワーク（大学院後期）		3	社会的排除とハームリダクションに関する専門文献をもとにディスカッションを行った。
<b>(2) 演習</b>				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	ソーシャルワーク演習Ⅲ		15	グループワークに関する演習科目の担当者として関わった。グループディスカッションやロールプレイに対して、オンラインで行うことも考慮しながら、適宜助言・指導を行った。
2	ソーシャルワーク演習Ⅳ		15	コミュニティアプローチに関する演習科目の担当者として関わった。学生のグループ活動が円滑になるように、オンラインで行うことも考慮しながら、適宜助言・指導を行った。
3	社会福祉専門演習Ⅰ・Ⅱ	○	15	オンラインで行うことも考慮しながら、犯罪・非行などの社会問題をテーマにした論文の輪読を進めた。
4	社会福祉専門演習Ⅲ・Ⅳ	○	15	オンラインで行うことも考慮しながら、卒業論文の準備に関する報告についてディスカッションを行った。
<b>(3) 実習</b>				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	ソーシャルワーク実習Ⅰ		学外実習：2022年2月 学内実習：10コマ	オンラインにおける実習を準備・運営した。また、対面実習における指導も行った。
2	IPW実習		学内実習：15コマ	地域担当教員として、それぞれのグループでのオンライン実習が円滑に進むように環境整備や助言を行った。
3	共生社会実習Ⅰ・Ⅱ		学外実習：2020年4月から2021年3月	アドバンス実習として計5件の実習のコーディネートを行った。実習日数は5日程度である。
<b>(4) 論文指導</b>				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2021年4月から2021年10月	主指導	5 副指導 名
<b>(5) その他</b>				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	該当なし			
<b>4. 社会貢献活動</b>				
<b>(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師</b>				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	該当なし			
<b>(2) 国、自治体、学術団体等における委員等</b>				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	BLUECROSS MOVEMENT（非行少年たちの社会的自立支援のための運動）	実行委員		任期なし
2	日本犯罪社会学会	本部事務局会計部常任理事（17期）		2023年11月まで
3	日本社会病理学会	研究委員会理事		2022年9月まで
4	日本社会病理学会	優秀報告賞選考委員会		2022年9月まで
5	日本保健医療社会学会	第47回日本保健医療社会学会大会サポーター		2021年5月まで
6	日本保健医療社会学会	編集委員会 査読委員		2022年3月まで
7	犯罪・非行を研究する若手研究者ネットワーク	キャリア担当役員		2022年3月まで
<b>(3) ジャーナリズムでの発言</b>				
	メディア等の名称	内容		年月
1	該当なし			

(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし	日本社会病理学会	第37回日本社会病理学会大会シンポジウム「教育を巡る社会病理」司会	2022年1月
2	国際協力事業	Tendencias actuales en la investigación y trabajo criminológico.	Desistance and Recovery- From my Research -	2021年8月
3	産業支援	埼玉県立大学	社会福祉士実習指導者講習会講師 (担当: 実習プログラミング論)	2021年6月
4	該当なし	龍谷大学	「バーチャル犯罪学部カリキュラム構想」へのシラバス提供	2021年6月
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	学科等における委員会等	1年次学年担当		2022年3月末まで
2	学科等における委員会等	スタッフルームの運営		2022年3月末まで
3	学科等における委員会等	公立大学協会社会福祉学系部会連絡会 担当		2022年3月末まで
4	学科等における委員会等	後援会担当		2022年3月末まで
5	学科等における委員会等	社会福祉専攻会議 担当		2022年3月末まで
6. 受賞 (研究、教育、社会貢献活動に関するもの)				
	受賞名	主催		受賞年月
1	福祉社会学会奨励賞	福祉社会学会		2021年7月
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号		登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				
該当なし				